

第62回 相模湖地区まちづくり会議 全体会 結果

日 時 平成31年 4月18日(木)・19時開会
場 所 相模湖総合事務所 3階 大会議室
出席委員数 19名出席(10名欠席)
傍 聴 者 0名

1 開会

2 代表あいさつ

長谷川副代表より本日、森久保代表が欠席の旨報告し、副代表の司会により進行した。

3 緑区副区長あいさつ

長谷川副代表から、鈴木緑区副区長が紹介され、鈴木緑区副区長からあいさつが行われた。

4 協議事項等

(1) 平成31年度 地域活性化事業交付金申請事業について

継続事業2件及び新規事業1件について、事務局が概要を説明後、申請団体の代表者が事業の目的、内容等について説明し、委員間で協議した。

<協議案件>

	交付年数	事業名	交付団体名
1	6	「SAGAMIKO MUSIC PARK」事業	相模湖ミュージックパーク 実行委員会

*各委員からの意見概要

- ・今年度は、開催場所を相模湖公民館に変更し、初めて来られた小中学生を対象とした楽器等の体験型も取り入れているようだが、もう少し集客に力を入れていただきたいと思う。

<委員間で協議した結果>

- *申請内容等について、反対意見は無かった。

<協議案件>

	交付年数	事業名	交付団体名
2	3	「地域資源を活用した美と健康とおもてなし」事業	さがみ湖コンシェルジュ

*各委員からの意見概要

- ・事業内容で、他のイベントのお手伝いという表記があるが、活動内容と修正した方がよい。
- ・3年目の事業であり、事業の継続性については、独立した収益を上げる方法等についても考える必要があるのではないか。
- ・特産物の開発などについても考えてみてはどうか。

< 委員間で協議した結果 >

* 申請内容等について、反対意見は無かった。

< 協議案件 >

	交付年数	事業名	交付団体名
3	1	「オリーブの栽培で地域の活性化」事業	さがみ湖オリーブの会

* 各委員からの意見概要

- ・他の地域でも広まれば、相模湖の事業は消滅してしまうのではないか。
- ・オリーブの葉を、そばに混ぜても良い感じであったとの事で、新たにチャレンジする事も大事だと思う。

< 委員間で協議した結果 >

* 申請内容等について、反対意見は無かった。

(2) 専門部会について

事務局が資料により、前回の全体会で専門部会の見直しを含め意見交換を実施した、意見のまとめについて説明し、専門部会ごとに今後の活動のための、テーマ及び取り組み概要等の設定について協議した。

暮らしの向上専門部会

< テーマ >

みんなの居場所づくり

< 取り組み概要等 >

- ・世代間交流の場が必要であり、3地区に各1ヶ所の設置等について検討する。

< テーマ >

学校給食について

< 取り組み概要等 >

- ・現在の弁当の給食ではなく、学校での完全給食に向け、保護者の意見等を聞いていく。

< テーマ >

高校への進学について

< 取り組み概要等 >

- ・都内の私立高校への進学についても、神奈川県と同等の対応をしていただけるよう、PTA会長を通して思いを広げるなど長期のスパンでの対応を検討する。

観光専門部会

< テーマ >

石老山について

< 取り組み概要等 >

- ・石老山展望台のベンチ等の整備、遊歩道の整備（桜道へ桜を植栽し、桜道を市民の森の一部に位置づけられないか等の検討など）
- ・石老山へのトイレの設置についての検討
- ・白蓮さんの歌碑設置の検討
- ・市民の森に携わる他団体との連携
- ・パンフレットPR方法の検討（統一した相模湖のポイントをまとめるなど）

地域の活性化専門部会

< テーマ >

移住・定住対策として相模湖の魅力に触れてもらう

< 取り組み概要等 >

- ・県立相模湖公園駐車場の無料化について検討する。（既設駐車場を無料化にし、利用しやすくすること、相模湖への滞在時間を増やすことなどの検討）
- ・湖の活用（ボートコースを利用した定期的なイベントや全国大会の誘致など）
- ・道の駅などの施設の誘致について検討する。

○長谷川副代表より、次回役員会で内容を集約し、できるものから手を付けていけるよう、体制を整えたい旨お話があった。

(3) その他

特に無し

4 閉会

藤井副代表により閉会

以 上